

感染症の迅速診断 POCT の可能性を探る

感染症を適切に治療するためには、適切な診断を行い、病因を明らかにすることが重要です。感染症の病因診断のゴールドスタンダードは分離・培養検査ですが、細菌や真菌の培養には数日間を要しますし、ウイルスは細胞培養が必要であるため、一般の臨床検査室レベルでは検査が行われていないのが現状です。ベッドサイドあるいは臨床検査室で行われる迅速診断検査は、感度/特異度やコストの点で問題がある場合もありますが、感染症を迅速に診断して、早期から適切な治療を開始するために有用な検査です。

本特集では、感染症診断のための迅速検査、特に POCT (point of care testing) を取り上げ、検査結果の評価、臨床への適切な応用と今後の可能性について、専門家の先生方に解説していただきました。

(岩田 敏)